2022年8月18日

関係各位

# 薬局だより

薬剤部　医薬品情報管理

定例薬事委員会において新規採用薬品等を下記のように決定いたしました。

1) 新規採用薬品

①全科採用

| 依頼科 | 薬品名 | 成分 | メーカー | 用法用量 | 適応症 |
|---|---|---|---|---|---|
| 心臓血管外科 | エンレスト錠50mg・100mg（薬価：50mg 65.20/錠 100mg 114.40/錠） | 50mg1錠：サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物56.551mg 100mg1錠：サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物 113.103mg | ノバルティスファーマ | 通常、成人にはサクビトリルバルサルタンとして1回50mgを開始用量として1日2回経口投与する。忍容性が認められる場合は、2～4週間の間隔で段階的に1回200mgまで増量する。1回投与量は50mg、100mg又は200mgとし、いずれの投与量においても1日2回経口投与する。なお、忍容性に応じて適宜減量する。 | 慢性心不全 ただし、慢性心不全の標準的な治療を受けている患者に限る。 |
| 感染症内科 | ベクルリー点滴静注用100mg（薬価：63,342/瓶） | 1バイアル：レムデシビル100mg | ギリアド・サイエンシズ | 通常、成人及び体重40kg以上の小児にはレムデシビルとして、投与初日に200mgを、投与2日目以降は100mgを1日1回点滴静注する。 体重3.5kg以上40kg未満の小児には通常、レムデシビルとして、投与初日に5mg/kgを、投与2日目以降は2.5mg/kgを1日1回点滴静注する。 なお、総投与期間は10日までとする。 | SARS-CoV-2による感染症 |

②診療科限定採用薬品（仮採用：6カ月後に再審議）

| 依頼科 | 薬品名 | 成分 | メーカー | 用法用量 | 適応症 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小児外科 新生児集中治療部 | リハビックス-K2号輸液（薬価：696/1瓶・袋） | 1袋（500mL）:グリセロリン酸カリウム1.242g　L-乳酸カルシウム0.517g　L-乳酸ナトリウム 0.561g　酢酸マグネシウム0.107g　塩化亜鉛1.37mg　ブドウ糖85.0g | エイワイファーマ | 経中心静脈輸液療法の維持液として用いる。500mLに10～12%アミノ酸注射液100～200mLを加えてよく混合し、小児の維持液とする。通常、症状、年齢、体重に応じて適宜増減した量の維持液を小児に24時間かけて中心静脈内に持続点滴注入する。 | 経口、経腸管栄養補給が不能又は不十分で、経中心静脈栄養に頼らざるを得ない場合の水分、電解質、カロリー補給 |
| 小児外科 | ★オラネジン液1.5%OR消毒用アプリケータ25mL（薬価未収載） | 1本（10mL）：オラネキシジングルコン酸塩0.375g | 大塚製薬 | 本剤を適量塗布する。 | 外皮用殺菌消毒 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 糖尿病内分泌内科 | ★ツイミーグ錠500mg（薬価：34.4/錠） | 1錠：イメグリミン塩酸塩500mg | 住友ファーマ | 通常、成人にはイメグリミン塩酸塩として1回1000mgを1日2回朝、夕に経口投与する。 | 2型糖尿病 |

2）診療科限定追加薬品

| 依頼科 | 薬品名 | 成分 | メーカー | 用法用量 | 適応症 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小児外科 | ソリタT配合顆粒3号（薬価：33.90/包） | 1包（4.0g）：塩化ナトリウム58mg　塩化カリウム149mg　無水リン酸二水素ナトリウム60mg　クエン酸ナトリウム水和物196mg　炭酸マグネシウム14mg | エイワイファーマ | 本剤1包（4.0g）を用時100mLの水又は微温湯に攪拌溶解する。通常成人1回100mLを1日数回患者の口渇に応じて経口投与する。小児には1回20～100mLを1日8～10回（2～3時間毎）経口投与する。<br>なお、年齢、症状により適宜増減する。 | 軽症又は中等症の脱水症及び手術後の回復期における電解質の補給・維持 |
| 消化器外科 | クレキサン皮下注2000IU（薬価：924/筒） | 1シリンジ（0.2mL）：エノキサパリンナトリウム2000IU（抗第Xa因子活性）含有<br>備考：ブタの腸粘膜由来 | サノフィ | 通常、エノキサパリンナトリウムとして、1回2000IUを、原則として12時間毎に1日2回連日皮下注射する。 | 股関節全置換術、膝関節全置換術、股関節骨折手術の下肢整形外科手術施行患者における静脈血栓塞栓症の発症抑制<br>静脈血栓塞栓症の発症リスクの高い、腹部手術施行患者における静脈血栓塞栓症の発症抑制 |
| 糖尿病内分泌内科 | ノルディトロピンフレックスプロ注10mg（薬価：70,620/筒） | 1筒（1.5mL）：ソマトロピン（遺伝子組換え）10mg | ノボノルディスクファーマ | 通常1週間に体重kg当たり、ソマトロピン（遺伝子組換え）として症例に応じた量を6～7回に分けて皮下に注射する。<br>成人成長ホルモン分泌不全症では患者の臨床症状に応じて1週間に体重kg当たり0.084mgを上限として漸増し、投与量は臨床症状及び血清インスリン様成長因子-I（IGF-I）濃度等の検査所見に応じて適宜増減する。<br>骨端線閉鎖を伴わないSGA性低身長症、骨端線閉鎖を伴わないヌーナン症候群における低身長では、効果不十分な場合は1週間に体重kg当たり0.47mgまで増量し、6～7回に分けて皮下に注射する。 | 骨端線閉鎖を伴わない成長ホルモン分泌不全性低身長症<br>骨端線閉鎖を伴わないターナー症候群における低身長<br>骨端線閉鎖を伴わない軟骨異栄養症における低身長<br>成人成長ホルモン分泌不全症（重症に限る）<br>骨端線閉鎖を伴わないSGA（small-for-gestational age）性低身長症<br>骨端線閉鎖を伴わないヌーナン症候群における低身長 |
| 眼科 | ブロナック点眼液0.1%（薬価：82.20/mL） | 1mL：ブロムフェナクナトリウム水和物1mg | 千寿製薬 | 通常、1回1～2滴、1日2回点眼する。 | 眼瞼炎、結膜炎、強膜炎（上強膜炎を含む）、術後炎症<br>外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法 |

3）診療科限定再審議薬品（本採用結果）

・ラゲブリオカプセル200mg：2022年2月より既に全科採用へ変更ずみ

・液状フェノール「ケンエー」：診療科限定（形成外科）のままで

4）販売/供給中止・回収・出荷調整等に伴う変更

| （変更前薬品名） | | （変更後薬品名） |
|---|---|---|
| ・サトウザルベ軟膏10％ | → | 亜鉛華軟膏「ニッコー」 |
| ・ポビドンヨードゲル10％「明治」4g | → | イソジンゲル10%20g |
| ・AZ含嗽用配合細粒「NP」 | → | AZ含嗽用配合顆粒「ニプロ」 |
| ・パセトシン細粒10％ | → | ワイドシリン細粒20%（規格変更） |
| ・ナファモスタットメシル酸塩注射用10mg・50mg「MEEK」 | → | 注射用フサン10・50 |

※8/2-ナファモスタットメシル酸塩注射用10mg・50mg「MEEK」自主回収（クラスⅢ）へ

| | | |
|---|---|---|
| ・アルファカルシドールカプセル0.25μg・1μg「テバ」 | → | アルファカルシドールカプセル 0.25μg・1μg「NIG」 |
| ・ゲンタシン硫酸塩軟膏0.1%「タイヨー」 | → | ゲンタシン硫酸塩軟膏0.1%「NIG」 |
| ・フロセミド錠20mg「武田テバ」 | → | フロセミド錠20mg「NIG」 |
| ・ラクツロースシロップ65％「武田テバ」 | → | ラクツロースシローップ65%「NIG」 |
| ・ネバナック懸濁点眼液0.1% | → | ブロナック点眼液0.1% |
| ・セファゾリンNa注射用1g「NP」 | → | セファゾリンナトリウム注射用1g「日医工」<br>セファゾリンNa点滴静注用1gバッグ「NP」 |

（バック製剤は高薬価＆納入量少ないため基本的に外来等出来高算定部署で使用予定）

5）削除薬品

・ダラザレックス点滴静注100mg/400mg　：（ダラキューロ配合皮下注へ レジメン切り替えのため削除）

・コスパノンカプセル40mg　：（期限切れのため削除）

・【科限定】ジスロマック細粒小児用10％　：（期限切れのため削除）

6）剤形変更等/採用区分変更薬品

① 剤型変更/規格変更/規格追加

・ナルラピド錠4mg ： 1mgに規格追加

② 採用区分変更

【全科採用】→【患者限定】へ変更

・ロコアテープ

・エルシトニン注20Sディスポ

③ 販売移管

ファイザー→VTRS：ヴィアトリス製薬

| | | |
|---|---|---|
| ・アレンドロン酸錠35mg「ファイザー」 | → | アレンドロン酸錠35mg「VTRS」 |
| ・タンニン酸アルブミン「ファイザー」原末 | → | タンニン酸アルブミン「VTRS」原末 |

・炭酸水素ナトリウム錠500mg「ファイザー」 → 炭酸水素ナトリウム錠500mg「VTRS」
・リザトリプタンOD錠10mg「ファイザー」 → リザトリプタンOD錠10mg「VTRS」
・ジソピラミドカプセル50mg「ファイザー」 → 名称変更はなし
・セフタジジム静注用1g「ファイザー」 → セフタジジム静注用1g「VTRS」
・ドブタミン点滴静注液100mg「ファイザー」 → ドブタミン点滴静注液100mg「VTRS」
・リン酸コデイン錠5mg「ファイザー」 → リン酸コデイン錠5mg「VTRS」
・炭酸水素ナトリウム「ファイザー」原末 → 炭酸水素ナトリウム「VTRS」原末
・リン酸コデイン散1%「ホエイ」 → 名称変更はなし
・白色ワセリンガラス瓶500g → 名称変更はなし
・L-メントール「ホエイ」25g → 名称変更はなし
・テーカイン原末 → 名称変更はなし

(アスペンジャパン→サンド/サンドファーマ)

・パロキセチン錠10mg「アスペン」 → パロキセチン錠10mg「SPKK」

7) 後発品へのへ変更

① 先発→後発

・ハーセプチン点滴静注60mg・150mg→トラスツムマブBS点滴静注用「CTH」60mg・150mg
・【科限定】ロトリガ粒状カプセル2g→【科限定】オメガ-3脂肪酸エチル粒状カプセル2g「武田テバ」(AG製品)
・トラマールOD錠25mg→トラマドール塩酸塩錠OD錠25mg「KO」
・スプリセル錠20mg・50mg→ダザチニブ錠20mg・50mg「トーワ」
※適応相違あるため(慢性骨髄性白血病)スプリセル錠は全科→患者限定に変更したうえで残す
・フェブリク錠10mg・20mg→フェブキソスタット錠10mg・20mg「DSEP」(AG製品)
・エビリファイ錠3mg→アリピプラゾール錠3mg「サワイ」
・エビリファイ内用液0.1%→アリピプラゾール内用液1mg分包「サワイ」
※適応相違あるため(うつ病/うつ状態、小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性)エビリファイ錠残していたが「サワイ」のみ追加承認となったため、アリピプラゾールOD錠12mg「ニプロ」についてもアリピプラゾール錠12mg「サワイ」(OD錠「サワイ」は未発売)へ変更
・【科限定】エルカルチンFF錠250mg」→【科限定】レボカルニチンFF錠250mg「トーワ」
・フォルテオ皮下注キット600μg→【患者限定】テリパラチドBS皮下注キット600μg「モチダ」